

平昌五輪出場 石川晴菜選手

泣いて友に電話 挫折乗り越えた

平昌五輪のアルペンスキー女子大回転に出場した金沢市の石川晴菜選手(三)＝木島病院Ⅱが十一日、通信制・単位制の第一学院高校(金沢市堀川新町)を訪れ、同校の一～三年生三十人の前で挫折の乗り越え方や今後の目標などを語った。(岡本真穂)

第一学院高で授業

授業のテーマは「夢に向けて」「私は泣いたり、友人に
かって進め!」。石川選手 電話したり、散歩したりす
は三年前、成績不振のため 「と答えた。」

ナショナルチームから外さ 夢の実現のためにしてき
れ、引退を考えたことを振 たことを問われると、「ト
り返り」「練習もしたくな レーニング」と即答。今後
く、外に出たくもなかつ の目標として「次の北京五
た。でも今辞めたら後悔す 輪に向かって頑張りたい。
ると思った」と明かし、挫 引退後は人を支えられる存
折した時のアドバイスとし 在になりたい」と語った。

北京へ頑張る



挫折の乗り越え方を語る石川晴菜選手(中央)＝金沢市の第一学院高金沢キャンパスで

出場した平昌五輪について 更になっていた」などの裏
で「選手村からスキー場行 話も披露し、生徒は興味深
きのバスが待っても来なく げな様子で話を聞いてい
た。知らない間に時間が変
た。